

達第百三十九號

横須賀鎮守府在籍

草 鑿 音 羽

右帝國軍籍籍ヨリ除カシ

大正六年十二月一日

海軍大臣 加藤友三郎

達第百四十號

経経類別等級別表中「音羽」ヲ削ル

大正六年十二月一日

海軍大臣 加藤友三郎

百四十五

海軍

0919

達第四百十一號

海軍砲術學校規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月一日

海軍大臣 加藤友三郎

第三十三條第三號中「特修科學生ノ下」四箇月乃至六箇月「ヲ」一箇年以内ニ改ム

達第四百十二號

海軍水雷學校規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月一日

海軍大臣 加藤友三郎

第三十六條第三號中「特修科學生ノ下」四箇月乃至六箇月「ヲ」一箇年以内ニ改ム

百四十六

海軍

0920

達第四百十三號

明治四十三年達第二十六號海軍用火藥火工品貯藏及取扱規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月五日

海軍大臣 加藤友三郎

一 第六十二條表中、M D 無煙火藥「トアルヲ」ニ「二年式無煙火藥」ニ「二十分以上」トアルヲ
 「二十分以上」ニ「十分以上」トアルヲ「十分以上」ニ改ム
「十分以上」トアルヲ「二十分未満」ニ改ム

二 第六十二條ノ二 本文ノ次ヲ左ノ通改メ同但書ヲ削ル

- 一 尋常紐狀火藥 耐熱三十分以上ノモノ又ハ耐熱十五分以上三十分未満ニシテ銀塚百七十五時間以上ノモノ
- 二 M D 無煙火藥 耐熱三十分以上ノモノ又ハ耐熱十分以上三十分未満ニシテ銀塚二百五十時間以上ノモノ
- 三 小銃銃銃
彈匣包用無煙火藥 耐熱二十分以上

百四十七

海軍

0921

達第四百四十四號

艦船造修試験検査規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月十一日

海軍大臣

加藤友三郎

第六十二條第一項中「三時」ヲ「四時」(サン時)及「(サン時)」ニ改ム

正 誤

本年達第三百三十八號表中「款ノ誤」ハ「款ノ誤」ノ誤

大正六年十二月十一日

海 軍 省 副 官

百四十八

海 軍

0922

大正十二年達
第百四十五號
以ニ本ヲ改正

改正

達第百四十五號

經砲取扱教範別冊ノ通定ニ

別冊ハ海軍教育本部ヲシテ所要ノ向ニ配付セシム

大正六年十二月十五日

海軍大臣

加藤友三郎

百四十九

海

軍

0923

達第四百四十六號

軍事救護法實施ニ關シ報告通報手續左ノ通定ム

大正六年十二月十五日

海軍大臣 加藤 友三郎

軍事救護法實施ニ關シ報告通報手續

第一條 海軍人事部長ハ傷病兵、下士卒故傷病兵ノ家族若ハ遺族ノ救護ニ關シ軍事救護法ノ規定ニ該當スル者ナリヤ否ノ調査ニ付救護地地方長官ヨリ照會ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ審査シ該當條項ヲ決定シ之ヲ通報スヘシ

第二條 海軍人事部長ハ地方長官ヨリ傷病兵、下士卒故傷病兵ノ家族若ハ遺族ニ對シ救護ヲ開始シタルコトノ通報ヲ受ケタルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

第三條 海軍人事部長ハ別紙様式ニ依リ救護ヲ受クル者ノ簿冊ヲ調製シ毎年四月一日十月一日調ヲ以テ所管内ニ於テ救護ヲ受クル者ノ異動ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第四條 海軍人事部長ハ現役兵並召集中ノ下士卒ノ家族ニ對シ救護ヲ開始シタル者アル

百五十

海軍

トキハ之ヲ所轄長ニ通報スヘシ

被救護家族ヲ有スル下士卒所屬ヲ變更シタルトキハ前項ニ準シ舊所轄長ヨリ之ヲ新所轄長ニ移牒スヘシ

第五條 海軍人事部長ハ被救護家族ヲ有スル下士卒ニシテ軍事救護法第九條第十一條第十二條第一項ニ該ル者又ハ歸休、現役滿期、兵役免除、召集解除若ハ死亡ノ者アルト

キハ其ノ官職氏名及事由ヲ速ニ本籍地所管ノ地方長官ニ通報スヘシ

第六條 海軍人事部長被救護家族ヲ有スル下士卒ニシテ軍事救護法第九條第十一條第十二條第一項ニ依リ又ハ其ノ家族ニシテ同法第十條第十二條第二項ニ依リ救護ヲ停止シ若ハ救護ノ程度ヲ減少セラレタルノ通報ヲ地方長官ヨリ受ケタルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ且所轄長ニ通報スヘシ

救護ヲ廢止シタルノ通報ヲ受ケタル場合亦前項ニ準ス

附 則

本手續ハ大正七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

達第四百四十八號

明治四十三年達第一號黃銅鑲洋出藥茨取發規定中第五條乃至第十條ヲ删除ス

大正六年十二月十八日

海軍大臣 加藤友三郎

百五十二

海軍

達第四百十九號

海軍下士卒身上取扱規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月十九日

海軍大臣 加藤 友三郎

本則中「艦團」ヲ「艦船部隊」ニ、艦團其ノ他各部ノ長」ヲ「所轄長」ニ、「敷設隊」ヲ「防備隊」

ニ、「人事部長」ヲ「海軍人事部長」ニ、「人事部」ヲ「海軍人事部」ニ改ム

第六條中乘組艦船ノ下「艇」ヲ削ル

第六條ノ四中「其本所屬長」ヲ「其ノ所轄長」ニ改ム

第八條ノ二所轄長ハ入院シタル下士卒ニシテ其ノ傷病ノ原因又ハ誘因ヲ直接公務ニ關係

アリト認ムルトキハ別ニ其ノ負傷又ハ罹病ノ狀況ヲ詳記シ速ニ本人在籍鎮守府ノ海軍

人事部長ニ通報スヘシ但シ恩給扶助料取扱手續ニ依リ現認證書及負傷證書又ハ罹病證

書ヲ提出スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二所轄長ハ下士卒ニシテ艦船、航空機、短艇等ノ遭難ニ際シ又ハ危險物、爆發



百五十三

海 軍

物等ノ爲不慮ノ災厄ニ遇ヒ傷殘ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者アルトキハ速ニ其ノ官職

氏名、負傷又ハ罹病ノ概況並即死、行衛不明、負傷若ハ罹病後死亡、重症、輕症等ノ

區別ヲ海軍省人事局長及本人在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ電報スヘシ

海軍人事部長前項ノ電報ヲ受理シタルトキハ其ノ傷病者ノ官職氏名ヲ文書ヲ以テ速ニ

海軍省人事局長ニ通報スヘシ

第十六條第二項中「本人在籍地」ヲ「本籍地」ニ改ム

達第百五十號

海軍軍人從軍年調査規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月二十一日

海軍大臣 加藤友三郎

本規則中「海軍軍人從軍年調査規則」ヲ「海軍軍人從軍年並服役年調査規則」ニ改ム

第一條 海軍軍人ノ從軍年並服役年ノ調査ハ軍人恩給法及明治三十三年法律第七十六號ニ規定アルモノノ外本規則ニ依ル

第十條 服役年加算ノ始期ハ明治三十三年法律第七十六號ニ依リ最初ニ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ到着シタル日トシ其ノ終期ハ最終ニ同地ヲ出發シタル日トス

達第百五十一號

海軍准士官以上履歴書及身上取扱規則中左ノ通改正ス

大正六年十二月二十一日

海軍大臣 加藤友三郎

百五十四

海軍

第七條ノ二 海軍軍人從軍年調査規則第六條ニ該當スル者ノ從軍年加算ノ終期、服役年

ヲ加算セラルル者ノ終期及戰時若ハ事變ノ際ニ從軍年ヲ加算セラルル者ニシテ海軍軍

人從軍年調査規則第六條ノ例ニ該當スル者ノ終期ハ前條ニ依リ其ノ新所屬長ヨリ之ヲ

通報スヘシ

0929

達第百五十二號

海軍諸則
則登載

艦船部隊其ノ他各部ニ於テ尉官又ハ機關尉官ノ職ニ充ラランタル特務士官、准士官ノ職
務及勤務ニ付テハ準用シ得ル限リ艦船令及軍艦職員勤務令中尉官又ハ機關尉官ニ關スル
規定ニ依ラシム

大正六年十二月二十一日

海軍大臣 加藤友三郎

正 誤

本年達第百四十九號中「艦團」ヲ「艦隊」ニシテ「艦團」ノ他各部「及」艦團部
隊「ヲ」艦隊部隊其ノ他各部「ニ」シテ

大正六年十二月二十一日

海 軍 省 副 官

百五十五

海 軍



0930

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百五十三號

明治四十四年三月達第二十二號ハ大正六年十二月二十五日限り之ヲ^終止ス



大正六年十二月二十六日

海軍大臣 加藤友三郎

(參照) 明治四十四年達第二十二號ハ准士官以上學生等ハ該項支給ノ件ナリ

正 誤

大正六年十二月十八日達第四百四十八號中「規定」トアルハ「規程」ノ誤

大正六年達第百五十一號中「海軍軍人從軍年調査規則」トアルハ「海軍軍人從軍年並服役年調査規則」ノ誤

大正六年十二月二十六日

海 軍 省 副 官

百五十六

海 軍

0931

同該豫防接種後滿一箇年以上ヲ経過セル下士卒ニ同接種ヲ施行スヘシ

第六十四條第二十四號ヲ削リ第二十四號ノ二ヲ第二十四號ニ改メ同號中「乙第十八號書式」ヲ「甲第十八號書式」ニ改メ第二十四號ノ三ヲ第二十四號ノ二ニ改メ同號中「丙第十八號書式」ヲ「乙第十八號書式」ニ改メ

第三十 衛生廳ハ第二十五號書式ニ依リ艦船、部隊、學校、工廠、造兵廠、要港部修理工場、極寒製造所、病院及監獄等ニ於テ調製シ所屬鎮守府軍醫長ニ提出スヘシ但シ掲載事項中變更ヲ生シ又ハ追加ヲ要スルトキ^{特ニ期日ヲ定メ}ハ其ノ都度訂正追加報告ヲ提出スヘシ

第七十三條第一號ヲ左ノ如ク改ム
第一 生徒志願者ノ身體検査證ハ生徒採用試験委員長ニ身體検査成績請求ハ醫務局長ニ提出スヘシ

第七十四條中「新募志願兵身體検査ノ命ヲ受ケ」ヲ「志願兵徵募軍醫官ヲ命セラシ」ニ改ム

第七十五條、第七十六條及第七十七條中「海兵團軍醫長」ヲ「軍醫長」ニ改メ「入團」ノ上ニ「新」ヲ加フ
醫務書類書式中左ノ如ク改ム

第二號書式ノ二及第八號書式中「梅毒」ヲ「微毒」ニ改ム

第七號書式計(平均)欄中

二九二	三六三
六三二	四一三
ヲ	ニ改ム

甲第十八號書式ヲ削リ「乙第十八號書式」ヲ「甲第十八號書式」ニ「丙第十八號書式」ヲ「乙第十八號書式」ニ改ム

第二十三號書式中「豫防接種調查報告」ヲ「豫防接種調查報告 新(舊)慮」ニ改メ(乙)腸管扶私豫防接種後發病迄ノ時日記載例ヲ左ノ如ク改ム

- 一 一週以内 何 名
- 二 二週以内 何 名
- 三 三週以内 何 名

四 六箇月以内 何名
 五 一年以上 何名
 六 二年以上 何名

同號書式中備考ニ左ノ二號ヲ加フ

三 新患及舊患ハ各別ニ調製スヘシ

四 腸室扶私及A、B型「バラチフス」菌保有者ハ當該病患者中ニ算入スヘシ

第二十五號書式及第三十一號書式ノ三ヲ別紙ノ如ク改ム

第三十一號書式ノ一中

合格 不合格 人員表 検査軍醫官 官氏名 ㊦

大正何年 海軍志願兵 合格 不合格 人員表 検査軍醫官 官氏名 ㊦

改メ備考第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ同號中「兵學校、機關學校及經理學校」ヲ削ル

百五十九 海軍

同號書式ノ二中

合格 者 平均 體格表 検査軍醫官 官氏名 ㊦

大正何年 海軍志願兵 合格 者 平均 體格表 検査軍醫官 官氏名 ㊦

改メ備考第三號中「兵學校、機關學校及經理學校」ヲ削ル

病類表ヲ別紙ノ如ク改ム

醫務書類用紙醫第九號 削除

0934

軍艦何衛生歴

注意

- 一 衛生歴ハ部外秘密トス
- 二 書式記載事項以外ニ重要ト認ムルモノアルトキハ適宜記載スヘシ
- 三 附圖ハ約四百分ノ一乃至二百分ノ一トスヘシ
- 四 尺度ハ英尺トシ長、幅、高ハ最大部分ニ就キ記載スヘシ
- 五 記事ハ各事項毎ニ別紙ニ記載スヘシ其ノ訂正追加報告亦同シ
- 六 表紙ハ堅牢ナル紙ヲ用ウヘシ

0935

0938

6 消毒装置									
其ノ一									
名 稱	位 置	面 積	消 毒 機				消 毒 實 施 成 績		
			数	直 徑	深	容 積			
消毒器室									
食器消毒室									
何 々									
其ノ二									
名 稱									
構 造 設 備									
7 浴 室									
名 稱	位 置	長	幅	面 積	浴 槽			構 造 設 備	
					数	長	幅		
将官浴室									
士官浴室									
機關兵浴室									
何 々									
8 洗 面 所									
名 稱	位 置	長	幅	面 積	洗 面 臺			構 造 設 備	
					数	長	幅		
士官洗面所									
何 々									
9 廁									
其ノ一									
名 稱	位 置	小 便 所			大 便 所 数	手 洗 装 置	開 除 用 具 格 納 所		
		数	長	幅					
将官廁									
繼長廁									
士官廁									
下士官附屬廁									
卒 廁									
何 々									
其ノ二									
名 稱 下 士 廁									

構造設備									
10 釣床格納所、衣袋棚靴棚									
釣床格納所				衣袋棚			靴棚		
位置	配置又ハ兵種別	數	格納數	位置	配置又ハ兵種別	格納數	位置	配置又ハ兵種別	格納數
上甲板第三區									
中甲板第三區									
何々									
11 蒸化器室									
位置	蒸化器ノ製式		一日ノ蒸化水量		摘要				
12 清水庫、水罐									
其ノ一									
名稱	位置	容量	消毒装置ノ有無	蒸気口ノ位置	排氣口ノ位置	天窓(レイント、日入、夜ナイ、等)ノ位置	摘要		
第一清水庫									
豫備水庫									
何々									
其ノ二									
名稱									
構造設備									
13 調理室兼食器室									
名稱	位置	長	幅	高	面積	舷窓數	總面積	天窓面積	摘要
將食器室									
兵蒸炊室									
流シ場									
何々									
14 糧食庫									
名稱	位置	容積	換氣装置		満容量(何食分)		摘要		
將官糧食庫									
米庫									
何々									

15 冷却機室										
位	置	冷却機ノ製式			摘	要				
16 冷蔵庫										
名稱	位	置	面積		容積	貯藏量額 (何食分)	摘	要		
			格納棚	床面積						
肉庫										
野菜庫										
何々										
17 換氣装置										
其ノ一 電働通風										
給氣 又ハ 排氣	換氣扇車				露天甲板ニ 於ケル通氣 口ノ位置	換氣セラルヘキ場所				
	番號	位置	大サ	一分間ノ 回轉數		一分間ノ 送氣量	名稱	全カ 力 時 一分間ノ 送氣量	通風 格子 ノ 總面積	通風 格子 ノ 高サ
給氣										
排氣										
+										
其ノ二 電働煖房通風										
換氣扇車					露天甲板ニ 於ケル通氣 口ノ位置	煖房通風セラルヘキ場所				
番號	位置	大サ	一分間ノ 回轉數	一分間ノ 送氣量		名稱	全カ 力 時 一分間ノ 送氣量	通風 格子 ノ 總面積	通風 格子 ノ 高サ	通風 格子 ノ 高サ
其ノ三 自然通風										
給氣 又ハ 排氣	換氣口			換氣セラルヘキ場所				摘	要	
	露天甲板ニ 於ケル 通氣口ノ位置	同 形状	同 大サ	名稱	通風 格子 ノ 總面積	通風 格子 ノ 高サ	通風 格子 ノ 高サ			
給氣										
排氣										
18 煖房装置										
室名	煖房種類			數	摘	要				
將官公室										

記 事

一、發生ニ關スル添造上ノ注意事項

一、主砲發射ノ際、砲モ兵員病室ハ著シキ衝動ヲ受ケサルヲ以テ患者ニハ耳栓ヲ施サシムルハ充分ナリ

一、大正何年何月何日何々沖統海中回艦室ニ於テ發射病何名發生當時天候何室添何度甲級溫度何度濕度何度露何度露音ニ對スル風向何風力何何米艦ノ遠力何節ニシテ何通風中ナリ

二、役務ノ變更

變更年月日

役

務

大正何年何月何日

帝國艦籍ニ入り第一豫備艦ト定メラル

0942

五 衛生上提出シタル意見ノ概要

意見提出年月日 大正何年何月何日

意見ノ概要 本艦下甲板第三區ハ炭酸定盤ノ際常ニ空氣中ノ炭酸含有量二%以上ヲ示ス其

ノ原因ハ該區中央ノ最下甲板ニ醬油庫アルカ故ニ右倉庫ヨリ汚染セル空氣(同庫内ノ空

氣中炭酸含有量五三%ヲ示ス)ノ流入スルニ由ル依テ該倉庫内ノ醬油ヲ臨時上甲板第一

區ニ移シ同庫内通風裝置ノ修理ヲ要スヘキ意見ヲ提出ス

結果 一時醬油ヲ上甲板第一區掌帆科倉庫内ニ移セリ爾來下甲板第三區ノ空氣中炭酸含有

量ハ〇・四五%ニ減シタリ

十

六 改造若ハ特ニ施設セル場所及其ノ概要

改造場所 下甲板第七區

改造年月日 大正何年何月何日著手 大正何年何月何日竣工

改造ノ理由 機關少尉候補生練習艦タルヘキ命ヲ承ケ同候補生寢所ヲ設備スル必要ヲ生シ

タルニ由ル

改造ノ概要 下甲板第七區右舷ニ在リシ士官豫備室及左舷ノ主計官室ヲ撤去シ書齋戸棚三

十箇ヲ設ケ且兩舷ニ舷窓各二箇ヲ新設セリ其ノ詳細ハ要目表及附圖ニ示セルカ如シ

0944

七 傳染病發生及主要ナル消毒ノ概要 (曆年ニ記載シ要年一月) 末日迄ニ報告スヘシ		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
陽萎扶私														
何々														
何々流行記事及豫防消毒ノ概要														

十一

八 多發セル傷病ノ狀況及共ノ原因、處置 (曆年ニ記載シ要年一月) 末日迄ニ報告スヘシ		初發年月日	終熄年月日	患者總數
病名	何々	大正何年何月何日	大正何年何月何日	何十何名
原因				
狀況及處置				

0945

九 戰艦ニ於ケル砲彈其ノ他ニ依ル被害及死傷者總數並戰艦ノ概況				
戰役名	戰艦年月日	場 所	死 者	傷 者
大正三四年戰役 何々々海戰	大正何年何月何日	何々沖	四〇	三八
			二三	一〇〇

戰況並被害ノ概要

一〇 坐礁、衝突沈没、引揚、修理等ノ概要

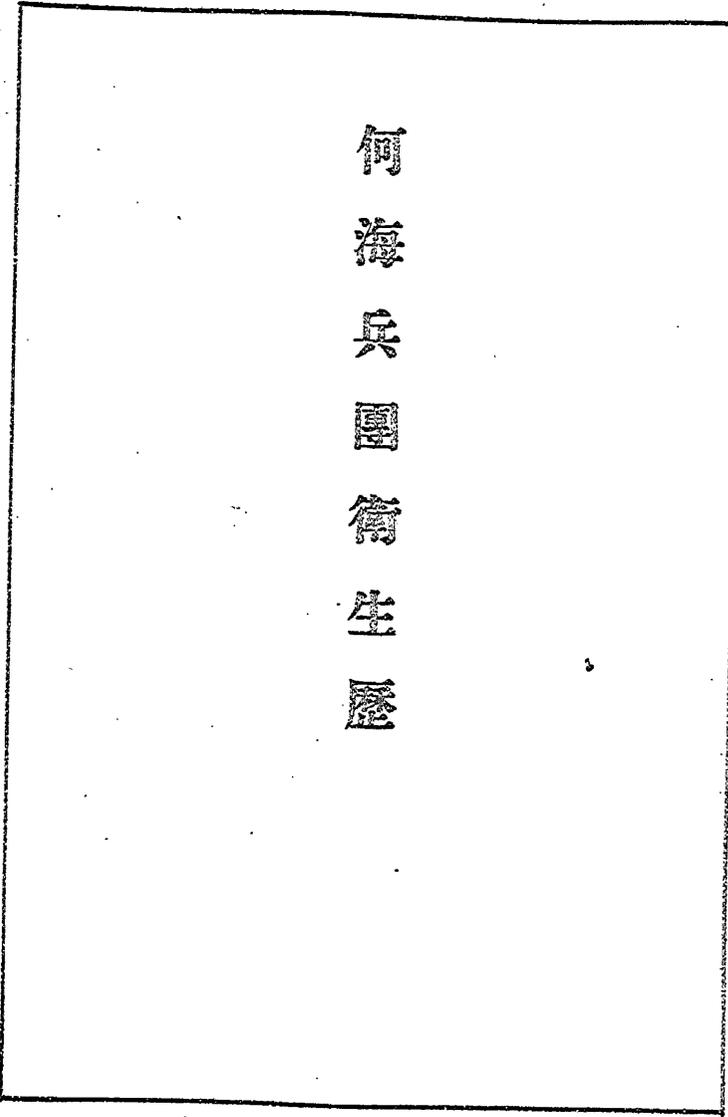
事故	事故發生年月日	位 置	死 者	傷 者
衝突	大正何年何月何日	東經何々何分南緯何度何分何秒ノ南 方何十哩	一二	二
			〇	一四

記事 臺灣南岸測量歸航ノ途次濃霧ノ爲日本郵船株式會社汽船何九ト衝突シ左舷後部中下甲板第何區ニ直徑何呎ノ破孔ヲ生シタルモ應急修理ノ上馬公要港部ニ自力回航ス

0946

14

何海兵團衛生歷



十四

注意

- 一 衛生歷ハ部外秘密トス
- 二 學校、工廠 組合、工場、倉庫及共ノ他ノ設備ニシテ衛生ニ關係スルモノヲ指スルコトヲ指シニ關係ナキ施設ニ關シテハ之ヲ略スルコトヲ指シ、病院、監獄等ニ於テハ適宜本書式ニ準シ記載スヘシ
- 三 書式記載事項以外ニ重要ト認ムルモノアルトキハ適宜記載スヘシ
- 四 附圖ハ約千分ノ一乃至二分ノ一トスヘシ
- 五 尺度ハ日本尺トシ長、幅、高ハ最大部分ニ就キ記載スヘシ
- 六 記事ハ各事項毎ニ別紙ニ記載スヘシ其ノ訂正追加報告亦同シ
- 七 表紙ハ堅牢ナル紙ヲ用ヅヘシ

0948

衛生ニ關スル要目表																		
名稱 何海兵團																		
位置																		
地勢																		
定 員																		
上長官、士官				特務士官、准士官				下 士				卒				軍 屬	計	内令發年月日
師長	師長	中隊長	中隊長	水兵部	機務部	看護部	其他	水兵部	機務部	看護部	其他	水兵部	機務部	看護部	其他			
1 周圍ノ概況																		
2 諸建築物ノ建築年月日、種類等																		
名 稱	起工年月日	竣工年月日	建築ノ種類及様式												建 坪			
廳 舍																		
第一兵 舍																		
第二兵 舍																		
十五																		
何 ヲ																		
3 公室、居室、事務室																		
其ノ一																		
名 稱	長	幅	高	面 積	控除容積	真容積	對一人積	燒 房 設 置		窓及換氣孔總面積	窓及換氣孔ノ面積ノ比							
								種類	積									
團長室																		
士官室																		
士官次室																		
軍醫長室																		
主計官事務室																		
何 ヲ																		
其ノ二																		
名 稱	窓				換 氣 孔				窓及換氣孔總面積	窓及換氣孔ノ面積ノ比								
	數	長	幅	總面積	數	長	幅	總面積										
團長室																		
士官室																		
士官次室																		

軍醫官室																				
主計官事務室																				
何々																				
4 兵舎各室																				
其ノ一																				
名稱	長	幅	高	面積	控除容積	真容積	對一人積	煙房裝置	種類	備要										
第一兵會 分隊長室																				
同分隊伍長室																				
同階上兵員室																				
同階下兵員室																				
何々																				
其ノ二																				
名稱	窓			換氣孔			床		窓及換氣孔		換氣孔									
	數	長	幅	總面積	數	長	幅	總面積	數	幅	總面積	數	幅	總面積	數	幅	總面積			
第一兵會 分隊長室																				
同分隊伍長室																				
※																				
第一兵會 階上兵員室																				
同階下兵員室																				
何々																				
5 軍醫官室、診察室、病室、治療品倉庫																				
其ノ一																				
名稱	長	幅	高	面積	控除容積	真容積	對一人積	煙房裝置	種類	備要										
軍醫官室																				
事務室																				
診察室																				
治療室																				
兵員病室																				
何々																				
其ノ二																				
名稱	窓			換氣孔			床面		窓及換氣孔		換氣孔									
	數	長	幅	總面積	數	長	幅	總面積	數	幅	總面積	數	幅	總面積	數	幅	總面積			
軍醫官室																				

16

事務室																				
診察室																				
治療室																				
兵員病室																				
何々																				
6 消毒装置																				
其ノ一																				
名稱	位	置	面積	消毒設備				消毒實施成績												
				數	直徑	深	容積													
蒸気消毒器室																				
何々																				
其ノ二																				
名稱																				
構造設備																				
7 烹炊關係諸室																				
名稱	長	幅	面積	厨爐數	釜數	水溜容積	窓總面積	窓格目 積	摘 要											
									十々											
士官烹炊室																				
兵員烹炊室																				
流シ場																				
何々																				
8 浴室及脱衣場																				
名稱	長	幅	面積	被服棚		浴槽		水溜		構 造 設 備										
				數	長	幅	長	幅	長	幅										
士官浴室																				
同 脱衣場																				
何々																				
9 洗面所																				
名稱	長	幅	面積	洗面數	洗面長	洗面幅	構造設備													
士官次室洗面所																				
兵員洗面所																				
何々																				
10 厠																				

21

五 傳染病發生及主要ナル消毒ノ概要 (曆年ニ比較シテ全年一月)		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
病名	腸管扶私													
何々	何々													
何々流行記事及豫防消毒ノ概要														

三十一

六 多發セル傷病ノ狀況及原因ノ處置 (曆年ニ比較シテ全年一月)		初發年	終總年	患者總數
病名	何々	大正何年何月何日	大正何年何月何日	何十何名
原因	狀況及處置			

0955

925
手紙
箱

病
類
表

二七

0959

例言

病類表ハ各種ノ傷痰疾病ヲ統計スル編目ノ標準ヲ示スモノナリ蓋シ傷痰疾病ノ多數ナル固ヨリ本表ノ能ク悉ス所ニ非サルヲ以テ各病類下ニ其ノ部ヲ設ケ患者月報及入院患者疾病月報ヲ調製スルニ當リ表中ニ掲載ナキ病名アルトキハ其ノ他ノ部ニ合算スルニトセリ但シ患者月報ニ至リテハ各箇人ノ病名ヲ詳究スルノ必要アルモノナルヲ以テ本表ニ依ラス可能的詳密ノ病名ヲ命スルヲ要ス例之ハ瓦斯中毒アラハ之ヲ酸化炭素瓦斯中毒、ガソリン「瓦斯中毒等」ト記シ又「モルヒネ」中毒、昇汞中毒アラハ其ノ他ノ中毒ト記セスシテ「モルヒネ」中毒、昇汞中毒ト特記シ肉腫、瘤腫等ハ單ニ惡性腫瘍ト記セスシテ各其ノ腫瘍名及發生部位ヲ記載シ躁鬱狂、早發痴呆等ノ精神病アルトキモ亦單ニ精神病トハ記セスシテ各病名ヲ區別記載シ切創、挫創ノ如キハ其ノ部位ヲ併記シ手部骨折ノ如キハ腕骨、掌骨、指骨ト部位ヲ小別記載スルカ如シ

左記病名ニ對スル病類別ハ往々區々ニ亘ルモノアルヲ以テ各當該病類中ニ編入スヘキモノトス

骨瘍及流注膿瘍 <small>結核性疾患ニ因スル</small>	第一類傳染病及全身病	結核一骨、關節
外傷性胸膜炎	第三類呼吸器病	胸膜炎
精系靜脈怒張(瘻)	第四類循環器病	其ノ他ノ循環器病
急性胃腸炎	第五類營養器病	急性腸炎
肛腫膿瘍	同	直腸周圍炎
肛門裂瘻	同	其ノ他ノ營養器病
混合下疳	第七類花柳病	微毒(初期硬結)
微毒性眼疾患 <small>微毒性虹彩炎 微毒性網膜炎</small>	同	微毒(第二、第三期)
白癬菌ニ因スル外被病	第十類外被病	寄生性匍行疹
潰瘍	同	其ノ他ノ外被病
粉瘤並尖圭ニンテローム	同	良性腫瘍

病類表

一	第一類 傳染病及全身病
二	痘瘡
三	麻疹
四	猩紅熱
五	發疹登革熱
六	ヘルペス
七	實布達利亞
八	腸室扶私
九	腸室扶私菌保有者
十	Δ型バラチフス
十一	A型バラチフス菌保有者
十二	B型バラチフス
十三	B型バラチフス菌保有者
十四	虎列刺
十五	虎列刺菌保有者
十六	霍亂

十六	細菌性赤痢
十七	赤痢菌保有者
十八	アメーバ性赤痢
十九	麻刺里亞
二十	回歸熱
二十一	流行性腦脊髓膜炎
二十二	流行性感冒
二十三	流行性耳下腺炎
二十四	丹毒
二十五	膿毒症、敗血症
二十六	破傷風
二十七	狂犬病
二十八	急性關節炎、麻質斯
二十九	慢性關節炎、麻質斯
三十	脚氣
三十一	癩
三十二	急性粟粒結核
三十三	肺

0961

三十四	結胸膜
三十五	腹膜
三十六	腹膜
三十七	腹膜
三十八	核線
三十九	骨、關節
四十	其ノ他
四十一	デング熱
四十二	ワイル氏病
四十三	白血病、假性白血病
四十四	瘰癧病、血瘰癧病
四十五	糖尿病
四十六	ハネド、氏病
四十七	中瓦斯
四十八	アルニホル
四十九	毒食物
五十	其ノ他
五十一	熱射病
五十二	人血絲狀蟲病

五十二	日本住血吸蟲病
五十三	惡性腫瘍
五十四	其ノ他ノ傳染病、全身病
五十五	第二類 神經系病
五十六	精神病
五十七	額癩
五十八	神經衰弱
五十九	ヒステリヤ
六十	腦、腦膜疾患
六十一	脊髓、脊髓膜疾患
六十二	末梢神經麻痺
六十三	神經痛
六十四	其ノ他ノ神經系疾患
六十五	第三類 呼吸器病
六十六	急性鼻炎
六十七	慢性鼻炎
六十八	其ノ他ノ鼻、副鼻腔疾患
六十九	急性喉頭炎

六十八 慢性喉頭炎
 六十九 其ノ他ノ喉頭氣管疾患
 七十 急性氣管支炎
 七十一 慢性氣管支炎
 七十二 喘息
 七十三 肺炎炎
 七十四 格魯布性肺炎
 七十五 加答兒性肺炎
 七十六 肺二口蟲病
 七十七 胸膜炎
 七十八 其ノ他ノ呼吸器疾患
 第四類 循環器病
 七十九 心齿炎
 八十 心筋疾患
 八十一 急性心内膜炎
 八十二 心瓣膜疾患
 八十三 心神經症
 八十四 動脈瘤

二九

八十五 痔核
 八十六 淋巴管、淋巴腺疾患
 八十七 其ノ他ノ循環器疾患
 第五類 榮養器病
 八十八 齒及齒齦疾患
 八十九 齒性顎疾患
 九十 口内炎
 九十一 急性扁桃腺炎
 九十二 扁桃腺肥大
 九十三 急性咽喉炎
 九十四 慢性咽喉炎
 九十五 唾腺疾患
 九十六 急性胃炎
 九十七 慢性胃炎
 九十八 胃擴張
 九十九 胃潰瘍
 百 胃神經症
 百一 急性腸炎

0963

百 二 慢性腸炎
 百 三 ヘルニア
 百 四 腸阻塞
 百 五 蟲様突起炎、盲腸炎
 百 六 腸神經症
 百 七 十二指腸蟲病
 百 八 蛔蟲病
 百 九 條蟲病
 百 十 肝二口蟲病
 百 十一 其ノ他ノ寄生蟲病
 百 十二 加答兒性黃疸
 百 十三 肝膿瘍
 百 十四 肝硬化
 百 十五 膽石症
 百 十六 急性腹膜炎
 百 十七 痔瘻
 百 十八 脱肛
 百 十九 直腸周圍炎

百 二十 其ノ他ノ榮養器疾患
 第六類 泌尿器、生殖器病
 百 二十一 急性腎炎
 百 二十二 慢性腎炎
 百 二十三 膀胱炎
 百 二十四 攝護腺疾患
 百 二十五 尿道疾患
 百 二十六 龜頭及包皮疾患
 百 二十七 精系、睪丸、副睪疾患
 百 二十八 陰囊水腫
 百 二十九 遺尿
 百 三十 其ノ他ノ泌尿器、生殖器疾患
 第七類 花柳病
 百 三十一 急性尿道炎
 百 三十二 慢性尿道炎
 百 三十三 副睪、睪丸疾患
 百 三十四 結膜炎
 百 三十五 關節炎

0964

百三十六 (其ノ他)
 百三十七 軟性下疳
 百三十八 橫痃
 百三十九 微(初期硬瘰)
 百四十 毒(第二、第三期)
 第八類 眼病
 百四十一 トラキマ
 百四十二 其ノ他ノ結膜疾患
 百四十三 角膜疾患
 百四十四 鞏膜疾患
 百四十五 虹彩、毛様體疾患
 百四十六 脈絡膜疾患
 百四十七 網膜疾患
 百四十八 視神經疾患
 百四十九 水晶體疾患
 百五十 硝子體疾患
 百五十一 眼瞼疾患
 百五十二 淚器疾患

百五十三 眼筋疾患
 百五十四 屈折機、調節機異常
 百五十五 特發性夜盲
 百五十六 其ノ他ノ眼疾患
 第九類 耳病
 百五十七 外聽道疾患
 百五十八 鼓膜疾患
 百五十九 鼓室疾患
 百六十 歐氏管疾患
 百六十一 内耳疾患
 百六十二 其ノ他ノ耳疾患
 第十類 外被病
 百六十三 疥癬
 百六十四 寄生性鉅行疹
 百六十五 其ノ他ノ寄生性皮膚疾患
 百六十六 濕疹
 百六十七 蕁麻疹
 百六十八 鬼紙頭

0965

百六十九 汗疱疹
 百七十 整傷
 百七十一 皮下結締織炎
 百七十二 癬、癩
 百七十三 癩疽、爪床炎
 百七十四 良性腫瘍
 百七十五 其ノ他ノ外被疾患
 第十一類 運動器病
 百七十六 骨、骨膜疾患
 百七十七 關節炎
 百七十八 筋震麻痺病
 百七十九 化膿性筋炎
 百八十 粘液囊疾患
 百八十一 髓、腱鞘疾患
 百八十二 其ノ他ノ運動器疾患
 第十二類 外傷
 百八十三 切創
 百八十四 挫傷

百八十五 挫創、裂創
 百八十六 挫斷創
 百八十七 刺創
 百八十八 銃創
 百八十九 砲創
 百九十 咬傷
 百九十一 靴傷
 百九十二 爆傷
 百九十三 熱傷
 百九十四 凍傷
 百九十五 腦、脊髄震盪
 百九十六 眼損傷
 百九十七 迷路震盪
 百九十八 鼓膜損傷
 百九十九 齒牙損傷
 二〇〇 內臟損傷
 二〇一 上膊
 二〇二 前膊

二百三十八	殺	其ノ	他
二百三十九	殺	其ノ	他
二百四十	他	切	創
二百四十一	殺	銃	創
二百四十二	殺	其ノ	他
二百四十三	詐	病	

二七

0968